



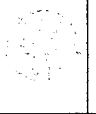





呈 欄	教育長	部 長	次 長	課 長	補 佐	係 長	館 長	館 員
								

## 令和4年度第2回名取市図書館協議会議事録

日時	令和5年1月12日(木) 午後3時00分～4時00分
場所	名取駅コミュニティプラザ ホール
出席委員	5名 大沼あゆみ委員 齋藤勇介委員 松本真奈美委員 本郷哲委員 梶川牧子委員
欠席委員	なし
事務局出席者	名取市教育委員会 教育長 瀧澤信雄 〃 生涯学習課 課長 佐藤徹也 名取市図書館 館長 柴崎悦子 〃 司書 加藤孔敬 〃 主幹 齋藤文絵
傍聴人	なし

### 会 議 概 要

#### 1. 開会

午後3時00分、出席者全員揃い定刻に開会。

#### 2. あいさつ（瀧澤教育長）

委員の皆様には、年のはじめでお忙しい中お集まりいただき感謝申し上げます。

今年度の図書館の大きなニュースのひとつとして、来館者が100万人に達成したことあげられる。12月8日に増田小学校2年3組の子供たちが図書館見学で来館し、100万人目とな

った。セレモニーの様子は、河北新報等に掲載された。平成 30 年 12 月 19 日に開館し、ちょうど 4 年で 100 万人達成となった。新型コロナウイルス感染症による休館などがなければ、もっと早く達成していただろう。現在の来館者は、平日 700-800 人、休日 1,000-1,100 人で、コロナ以前に戻ってきている。

図書館協議会は、7 月に第 1 回目を開催し、本日は 2 回目の集まりとなる。令和 4 年度上半期の事業報告、令和 5 年度運営方針、名取市図書館サービス計画について、ご審議いただく。

新図書館オープン記念事業で阿刀田高先生に講演をいただいた際、阿刀田先生は、図書館にとって大切なものは 3 つ「建物・本・人」であるとおっしゃっていた。ここで言う「人」は、図書館職員、ボランティア、来館者はもちろん、本日お集まりいただいた協議会の委員の皆様も図書館を支える大事な「人」として考えている。柴崎館長を中心とした職員が、いろいろと工夫しながら運営を行っているが、中にいるとどうしても見えないこともある。魅力ある図書館であり続けるため、ぜひ忌憚のないご意見を頂きたい。

### 3 会長あいさつ(松本会長)

新年最初の集まり、お忙しいところまたお寒い中お集まりいただき感謝申し上げる。

ただいま教育長からのご挨拶でもあったように、より良い図書館のために、委員の皆様には忌憚のないご意見をお願いしたい。

新型コロナウイルスの情勢は、今も油断できない。これからも影響は続いていくだろうと考える。このような時だからこそ、図書館の役割はますます重要になっていくだろう。本日はご審議をよろしく願います。

### 4 会議成立の確認

名取市図書館条例第 11 条第 2 項の規定により、委員の半数以上が出席しているため、会議は成立していること報告。併せて、名取市審議会等の会議の公開に関する要綱第 2 条の規定により、公開の対象となることを報告。

### 5 議事

条例第 11 条第 1 項の規定により、松本会長が議長となり議事を進行。

(1) 令和 4 年度上半期利用状況及び事業報告について …資料に基づき加藤司書説明

#### 松本議長

追加説明はあるか。

#### 柴崎館長

追加資料「令和4年度10月から12月の利用状況・事業概要」に基づき説明。

延べ利用者数、実利用者は増えているが、貸出数は減っている。1人当たりの借りる数が少なくなっているということになる。資料は21万冊以上あり、毎年1万冊ずつ増えている。一冊でも多く手に取ってもらえる機会を作っていきたい。

リクエスト件数は、上半期と比べて10.11.12月は伸び率が下がっている。事業としては、明治安田生命との共催で「シニアのためのこころと身体健康講座 with 健康測定会」を開催した。また、来館者が100万人達成となり、くす玉を用意し盛大にセレモニーを行った。企画展示は、税関と共催して「税関150周年記念税関展」を、2階エントランスと3階情報発信コーナーで行った。視察見学については、増えてきており、元に戻りつつある。

#### 松本議長

以上の内容について、意見・質疑を求める。

#### 齋藤委員

来館者は増えているが、貸出数は減っているとのことだが、利用者の滞在時間については捉えているか。

本を借りて帰るだけでなく、落ち着いた場所でゆっくり本を読んで帰るといふ、居場所としての使い方をしている可能性もある。そうであれば、来館者が増え貸出が減ることはマイナスではなく、図書館が居心地の良い空間だということになる。

図書館で試しに見て購入する、学校図書館で同じものを探すなどの利用も考えられる。

#### 柴崎館長

滞在時間は調査しておらず肌感覚となるが、平日でも座席がいっぱいのことがあり、1人当たりの滞在時間は伸びていると思う。当館ではいろいろな形の椅子があるが、特に居心地の良い椅子は人気で、長い時間座っているようだ。齋藤委員のお話をお聞きし、そういう捉え方もあるかと気づかされた。

#### 梶川委員

齋藤委員のお話を聞き、私もそうだと感じる。新聞や雑誌を読みながらゆったり過ごしている高齢の方をたくさん見かける。

#### 齋藤委員

他の図書館と比べて、名取市図書館は、ゆったりと本を読み過ごしている人が多いと感じる。心地よい雰囲気であり、図書館の日頃の取組が反映されてのことと思う。

#### 本郷委員

児童書と児童読み物の違いはなにか。

#### 柴崎館長

児童書とは、読み物、絵本以外の本を指す。調べる本、例えば科学読み物や歴史伝記など、文学以外の本のことである。

#### 本郷委員

小説の貸出が減っているとのことだが、時代の流れで、デジタルコンテンツがたくさん出回っている分野については、その影響があるのではないか。絵本については、やはりデジタルより手に取れる紙の本を見せたいという親心もあり、貸出が伸びているのではないかと思う。

図書館の本からデジタルコンテンツに流れていることが、何かでわかればよいのだが。本を読むのではなく図書館でデジタルコンテンツを見ているなど、利用が変わってきているのかもしれないので、そういったことがわかれば教えてほしい。

データベース講習会を開催したとのことだが、効果はどうか。

#### 柴崎館長

デジタルコンテンツへの流れについて、当館は学習室を除く全館でパソコンを持ち込み使用できるため、かなりの数の方がパソコン、スマートフォン、iPad などを利用し、動画を見たり勉強や仕事をしたりしているようだ。

オンラインデータベース講習会については、利用の促進を図るため、マンツーマンに近い形で講習会を行った。少しずつだが利用は増えている。

#### 本郷委員

デジタルコンテンツの利用も、利用実態としてなにか計上できれば、図書館が公共的に役に立っているということをPRするのによいかと思う。

高専の図書館も貸出冊数は減っているが、パソコンを持ち込んだでの利用は増えており、それをどう実績として反映させるかを考えている。

#### 柴崎館長

図書館に備え付けのパソコンは統計を取ることができるが、個人で持ち込んだものについては数を把握することが難しい。傾向としては、年々増えているように思う。

#### 本郷委員

デジタルコンテンツに関しては、学生が特に進んでいて、今までは通学中に本を読んでいたのが、スマートフォンやタブレットで読むようになってきている。読みたい本の種類を選ぶのに図書館を使い、好きなシリーズや作者を見つけたらダウンロードする。貸出数減については、そもそも図書館の利用の仕方が変わってきていることが理由にあると考えられる。

#### 大沼委員

利用者が増えていることから、名取市図書館が人々の行きたい場所になっていることがわかる。

今の子供たちの読書の傾向としては、短い時間で完結する物語が人気であり、長い話が読めなくなってきたようだ。

先ほどの説明で、貸出が大きく減っている年代があるとのことだったが、どのように分析しているか。

#### 柴崎館長

年代別貸出数では、60代が大きく減少している。退職したら図書館でゆっくりではなく、まだまだお元気で、様々なところに出かけているのかと思う。

#### 教育長

コロナで行動制限があったときは、巣ごもり需要で、図書館で本をたくさん借りて、家で読む方が多かった。最近では、図書館に来て読むとか、他の活動もするようになってきたことが、貸出数減の原因か考える。

デジタルコンテンツについてだが、学校では小中学生全員がiPadを使用している。電子教科書が一部入ってきているが、物語を読ませるといったような利用はしていない。脳科学者によると、年齢の小さいうちはデジタル画面ではなく紙に書かれた文字を読むことが大事だそうだ。

紙の本が無くなりほしくないまでも、デジタルコンテンツに取って代わられる時代が来るのかもしれない。今後を見据えて考えていかなくてはいけないひとつのテーマ、課題であると感じている。

#### 松本議長

他に意見・質疑はないか。

#### 委員

なし。

(2) 令和 5 年度図書館運営方針について …資料に基づき柴崎館長説明

前回の協議会で、運営方針を基本としてサービス計画を策定することとなっていたので、令和 5 年度の運営方針は、変えることなくこのままとしたい。

松本議長

意見・質疑を求める。

委員

なし。

(3) 名取市図書館サービス計画(令和 5 年度～令和 9 年度)について

…資料に基づき柴崎館長説明

この内容は、新しく取り組もうとしているものではなく、現在行っているものである。指標については、長期総合計画と重複しない項目とした。平成 24 年度に文部科学省より図書館の望ましい基準が示されており、人口 6-8 万人の目標値を参考としている。

松本議長

意見・質疑を求める。

本郷委員

文部科学省から出されている図書館の望ましい基準は、東京や大阪の大都市を中心として考えているのではないかと思う。そういう場所だと、例えば市内全域の小学生が自分の足で図書館に行くことができる。しかし名取市では、愛島台やインターチェンジの近くなど、親が連れてこない図書館へ行けない場所が多い。名取市のこれまでの実績ベースで目標値を決めることもよいのではないかと思う。

齋藤委員

私もこの数値設定は首都圏だろうと思う。ここでいう目標値というのは、クリアすべき課題なのか、あくまでも目標なのか。まずは国の数値でやってみて、かけ離れていた場合は名取市の状況や利用ニーズを考えて目標値を修正していくというのもありなのではないか。そうであれば、目標値をこのまま高い数値としても良いと思う。

#### 柴崎館長

どのあたりを目標値とするかは難しい。望ましい基準は、人口 6-8 万人の自治体の図書館で、貸出冊数が多い上位 10 館の平均となっている。レベルの高いところの基準ではあると思う。

例えばリクエスト件数の目標値でみると、リクエストは紙ベースだけではなく自宅から WEB で予約することもできるので、目標は高いものの、そこまでかけ離れた数字ではないと考えている。

名取市図書館には、予約棚コーナーというセルフで予約本を受け取れるコーナーがある。東北地方では初の設備で、職員の業務が簡単に効率よく行えるし、予約した人も簡単に受け取れる。まだ棚に余裕があるので、利用して欲しいという思いもあり、目標値は高めだがこのままでいきたいと考えている。

#### 大沼委員

公民館図書室の充実について、隔週で司書が公民館を巡回しているとのことだが、どのようなものか。また、図書館に分館を作る話はあるのか。

#### 柴崎館長

平成25年度末に移動図書館を廃止、平成26年度から公民館巡回を始めた。最初の年は全ての公民館を回っていたが、図書館に近いところは利用がなかったことから、図書館から遠い 3 団地のみを巡回している。図書館も本屋も遠い場所であり、たくさんの方に利用されている。

分館を作る話はない。

#### 梶川委員

予約棚や予約リクエストの方法など、まだまだわからない方がたくさんいる。周知していると思うが、こんなにも充実しているということが認知されていない。

名取市は、海から山まで広い。那智が丘や相互台の友人の中には、図書館に一度も来たことがない方もいる。私の活動するおはなし会に誘い来館した友人は、素敵な図書館だと驚き、利用者カードを作り、本を借りていった。そのような方がまだたくさんいて、隅々まではいきわたっていない。何かしらの対策をとれば、図書館利用者はもっと増えると思う

もう一つ、他の図書館のサービスで良いと思ったものをお話したい。人気のある絵本を複数冊購入した時に、全てを館外貸し出しにせず、1 冊を館内閲覧用に使っている図書館がある。読んでみたいと思った人気の本が、いつでも図書館で読めるようになるので、ぜひ検討していただきたい。

#### 柴崎館長

まだまだ図書館の便利なサービスを知らない方がたくさんいるし、図書館自体を知らない方もたくさんいると思う。そういう方々に向けて情報を発信し、図書館はこんなに便利に使えるところだ、こんなに居心地の良いところだ、ということを積極的に PR していきたい。

子供の本については、人気のあるものや定番のものは複数冊購入している。1冊を館内閲覧用にとすることについては、館内に持ち帰って検討したい

松本議長

他に意見・質疑はないか。

委員

なし。

(4)その他

アーカイブパンフレットの配布・説明

名取市子ども読書活動推進事業「川端誠絵本ライブ&講演会」のチラシ配布・説明

6 閉会のあいさつ(大沼委員)

ご審議に感謝申し上げます。

開館後数年たつと利用者が減っていくところもあると聞く。名取市図書館は、本日の説明を聞き、素晴らしい実績だとわかった。益々発展するよう祈念し、閉会のあいさつとする。

7 閉会